

# 水産宮崎

SUISAN MIYAZAKI



2014  
04  
No.654

## 新年度、新たな体制でのスタートを切る



東九州自動車道「日向～都農」間開通  
県庁前イベントで北浦産「カンパチ」振る舞い

## 宮崎の魅力を



## ディスカバー! 宮崎

みやざき元気! "地産地消" 推進県民会議

2014.4.1発行(毎月1回1日発行)

Copyright © Miyazaki Prefectural Federation of Co-Operative Associations. All rights reserved.

## CONTENTS

### FISHING POLITICS

漁政

#### 宮崎県漁政対策委員会 第7回委員会

平成26年度佐多対空射撃場  
水域設定に係る事前協議

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会  
平成26年度通常総会

平成25年3月属人水揚げ表

### FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

#### 漁協通常総会・総代会

県機能基盤強化推進委員会第1回委員会

### BUSINESS

業務情報

#### ライフジャケット着用の推進

わかしおシリーズ商品のご紹介

東九州自動車道「日向～都農」間開通

県庁前イベントで北浦産「カンパチ」振る舞い  
特設会場にて「初かつお」振る舞い

AXAレディースゴルフトーナメントでオモテナシ

みやざき元気! "地産地消" 推進県民会議

### FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

#### 人事異動

平成25年度第9回理事会

平成25年度第4回監事会

平成25年度第3回宮崎県漁連倫理委員会

### FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

#### 平成26年度県関係人事異動

水産試験場からのお知らせとお願い

3月の動き(県関係)

### RELATED ORGANIZATION

関係機関

#### 宮崎県漁協職連ボウリング大会

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会  
平成26年度通常総会

第49回

宮崎県漁協青壮年部幹部移動研修会

3月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



## 宮崎県漁政対策委員会第7回委員会

**宮** 崎県漁政対策委員会(会長 宇戸田 定信)は、去る3月18日(火)水産会館4階第一研修室にて、第7回委員会を開催した。協議内容は下記の通り

### 協議事項

- 1.平成26年度佐多対空射撃場水域設定について
- 2.その他

## 平成26年度 佐多対空射撃場水域設定に係る事前協議

**漁** 政対策委員会 第7回委員会にひきつづき、5階大研修室にて、平成26年度佐多対空射撃場水域設定の事前協議が行われた。協議内容は下記の通り

### 協議事項

- 1.平成26年度佐多対空射撃場水域設定について

## 宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会 平成26年度通常総会


**宮** 崎県かつお・まぐろ漁業者協会(会長 濱上 貢)は、去る3月31日(月)日南市南郷町めいづ漁民センターにおいて平成26年度通常総会を開催し、全議案とも異議無く承認された。協議内容は以下の通り

### 協議事項

- 1.平成25年度事業報告書及び収支決算書の承認について
- 2.平成26年度事業計画書及び収支予算書(案)の承認について
- 3.平成26年度賦課金の額及び徴収方法の決定(案)について
- 4.その他
- 5.役員補充

ナチュラルミネラルウォーター

# 美泉水



お問い合わせ先

本所業務部	0985-28-6111
延岡支所	0982-37-0030
日南支所	0987-23-5231

# 平成26年3月属人水揚げ表

漁協名\区分	3月分			3月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	3,254	377,021	116	9,257	939,146	101	9,038	643,399	71	219	295,747	42.5
島浦町	1,338	222,071	166	2,509	439,453	175	2,945	448,165	152	-436	-8,712	15.1
延岡	52	21,980	421	73	29,975	413	97	31,282	323	-24	-1,307	27.9
延岡市	97	62,177	643	186	110,453	592	185	97,790	528	1	12,663	12.2
庵川	120	73,653	615	261	156,731	600	333	170,691	513	-71	-13,960	17.0
門川	36	18,381	513	65	34,397	528	114	45,333	398	-49	-10,936	32.8
日向市	383	271,169	707	930	611,769	658	1,218	743,804	611	-288	-132,035	7.7
都農町	43	29,179	672	125	82,953	662	136	80,853	595	-11	2,100	11.3
川南町	362	254,327	702	848	587,448	693	950	625,718	659	-102	-38,270	5.2
一ツ瀬	14	10,429	758	32	25,349	803	39	27,311	693	-8	-1,962	15.8
檉浜	16	7,465	465	26	12,879	490	38	16,319	435	-11	-3,440	12.7
宮崎	185	71,083	385	296	125,975	425	389	159,345	410	-92	-33,370	3.6
宮崎市	105	56,042	536	276	156,784	568	226	106,942	473	50	49,842	20.0
日南市	451	250,498	556	896	495,910	554	1,363	649,156	476	-468	-153,246	16.3
南郷	992	477,023	481	1,584	736,902	465	2,371	1,028,736	434	-787	-291,834	7.2
栄松	121	57,119	470	152	73,622	484	173	79,568	461	-20	-5,946	5.0
外浦	412	191,058	464	759	342,843	452	955	425,835	446	-195	-82,992	1.2
串間市東	256	90,456	353	710	274,126	386	505	181,014	359	205	93,112	7.6
串間市	616	366,407	595	3,083	1,722,374	559	2,679	1,387,106	518	404	335,268	7.9
合計	8,853	2,907,537	328	22,069	6,959,090	315	23,753	6,948,368	293	-1,683	10,721	7.8

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。



## 漁協通常総会・総代会

12 月決算組合の平成25年度通常総会・総代会が一斉に開催され、平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画等の提出議案を審議し承認決定した。組織及び概況は次の通り。

開催日	漁協名	正組員数	准組員数	信用事業の貯金高	購買事業の取扱高	販売事業の取扱高
3月20日	檜浜漁協通常総会	25名	21名		2,289万円	
3月26日	都農町漁協通常総会	56名	48名		4,541万円	2億7,340万円
3月27日	延岡漁協通常総会	44名	57名		6,349万円	2億7,219万円
3月27日	延岡市漁協通常総会	152名	52名		1億315万円	15億7,836万円
3月28日	北浦漁協通常総代会	427名	141名	42億5,171万円	4億9,431万円	50億911万円
3月28日	島浦町漁協通常総代会	244名	17名	21億3,546万円	5億5,754万円	29億2,463万円
3月28日	日向市漁協通常総会	262名	42名	28億300万円	4億5,577万円	26億810万円
3月28日	川南町漁協通常総会	231名	108名	19億8,033万円	36億9,790万円	19億4,084万円
3月28日	日南市漁協通常総会	157名	51名	21億5,016万円	10億5,673万円	47億3,963万円
3月29日	庵川漁協通常総会	74名	36名		1億3,534万円	6億1,349万円
3月29日	門川漁協通常総会	42名	34名		7,318万円	2億5,818万円

## 県機能基盤強化推進委員会第1回委員会

県 機能基盤強化推進委員会(会長:宇戸田定信)は、3月18日(火)、県庁6号館612会議室において第1回委員会を開催し、「アクションプランの平成25年度の進捗状況報告及び26年度の取組について」事務局より説明があった。本アクションプランは、漁協及び系統組織の合理化へ向けた具体的な取組であり、行政と連携しながら、今後の本県水産業の発展と漁家経営の安定化の礎となるものである。

人と自然との調和

漂白剤

薬用ソルトハミガキ

**わかしお** を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁運・全漁連)へ

# ライフジャケット着用の推進

JF 宮崎漁連ではライフジャケットを販売しております。大切な命。守るのはあなた自身です。

守ろう! 進めよう!  
ライフジャケット  
**常時着用**  
一人乗りは着用義務

ライフジャケット着用は  
あなたの**人生**を  
守ります!

助けたい、助かりたい...。  
常時着用は漁業者の大切な命綱。

**日常点検**  
をしましょう!

目で見ても、さわって、漁から帰ったら毎日でも

- ベルト、バックル、ファスナー等の破損はないか?
- すりきり、穴あき、破れはないか?
- 十分な浮力は確保されていますか?
- 作動索は出ていますか?

作動索は必ず救命胴衣の外に出しておいてください。

ベルトの破損

バックルの破損

HELP!

**定期点検**  
が必要です!

- 膨張式ライフジャケットの部品（スプールやマガジン、ポンベなど）は定期的に交換していますか?
- 取扱説明書等にある漏洩試験を定期的に行っていますか?

きちんとメンテナンスしないと、いざという時に役に立たないかも...

安全を安心にするには、点検が必要です。

みんなで作ろう

みんなで作よう

ちゃんと着てるか

漁業者の仲間同士でライフジャケットの着用推進・点検をしよう。

複雑な点検作業は部会などで集まるときに、技術者を呼んでみんなで行いましょう。

## わかしおシリーズ商品のご紹介

全国の漁協・漁連では、環境に優しい洗剤“わかしお”を利用、販売しています。

わかしおは、原料・使いやすさにこだわり、手にやさしく、汚れも素早く落とすすぐれものです。

わかしおシリーズとして

粒状せっけん(洗濯機用)	クレンザー	漂白剤
薬用ソルトハミガキ等	洗濯用液体石けん	台所用液体石けん

がございます。商品によって便利な詰替タイプもございます。ぎよれん丸の他にも県内の漁協でも扱っておりますので、是非お試しください。



S  
S  
E  
N  
S  
I  
B

## 東九州自動車道「日向～都農」間開通 県庁前イベントで北浦産「カンパチ」振る舞い

**去**る3月16日(日)に東九州自動車道の日向～都農間が開通し、宮崎市から延岡市まで約1時間25分で結ばれることとなった。沿線自治体では宮崎県民挙げてのカウントダウンイベントがおこなわれ喜びに沸いた。

イベント会場となった県庁前でも朝から多数の催し物が開催され、その一つとして、今朝水揚げされた「北浦産カンパチ」をのせた活魚車が県庁前に横付けし、その場で捌いて来場者300名への振る舞いをおこなった。振る舞い時間前には長い列ができ、捌きたてのカンパチの味を堪能されていた。



## 特設会場にて「初かつお」振る舞い AXAレディースゴルフトーナメントでオモテナシ

**去**る、3月28日から30日にかけて開催された、第2回AXAレディースゴルフトーナメントin宮崎にて、初かつおフェア実行委員会による初かつおの振る舞いがおこなわれた。

振る舞いは29日・30日の2日間でおこなわれ、配布予定時刻には長蛇の列ができ、各日用意した300食が瞬間になくなっていった。かつおは、当日水揚げされたもので皆さんご満悦顔で食され、旬の味を堪能されていた。



## みやざき元気！“地産地消”推進県民会議

平成26年度 県民会議の取組方針について

### 1.取組イメージ

#### 記紀編さん1300年記念事業の展開

～地域の宝を見つめ直し、郷土への誇りや愛着を深める取組

#### 東九州自動車道 宮崎～北九州間の開通(予定)

- ～推進の視点：
- ①[みがく]地域の競争力強化～単なる通過点とさせない
  - ②[つなぐ]地域連携の強化 ～「競争と協調」によるヒト・モノ・カネの取込
  - ③[まわす]県内連携の強化 ～地域経済の好循環

#### 復興から新たな成長に向けた基本指針

- ～推進の視点：
- ①食や環境、医療など本県の強みやポテンシャルを最大限に生かした新事業・新産業の創出
  - ②広い分野での「地産地消」及び国内外への「地産外商」(外貨獲得)の強力な推進

#### みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト

～東京五輪開催決定を契機に、県民一人ひとりが本県の強みや良さを見直すとともに、地域の魅力を広げる取組を行うことで、県内経済や地域の活性化に繋げるための取組

### 広い意味での地産地消を推進する3つの県民運動と連動させた効果的な展開

#### 地産地消推進県民会議

みやざき元気！“地産地消”県民運動

宮崎を知ろう！100万泊県民運動

中山間地域をみんなで支える県民運動

# 人事異動

人事異動一覧表

平成26年4月1日付

氏名	新	旧
阿満泰利	総務部次長経理課長事務取扱	総務部経理課長、部次長待遇
押川彰子	総務部経理課長補佐	総務部総務課長補佐
岩切進	総務部総務課長補佐	指導部指導推進課係長
西山孝則	購買事業部長	日南支所長
盛田繁治	購買事業部購買課長	業務部購買課長
日高大輔	購買事業部購買課係長	業務部購買課係長
日高直泰	販売事業部長	業務部長
井上喜義	販売事業部企画開発室長	業務部販売課長、部次長待遇
岩下一郎	販売事業部販売課長	延岡支所長
河野桂二郎	販売事業部販売課係長	業務部販売課係長
鈴木智介	販売事業部販売課係長	業務部販売課職員
竹井史典	販売事業部販売課職員	業務部販売課職員
日高仁彦	販売事業部販売課職員	南郷事業所職員
岩佐徳生	指導部長 組織経営課長事務取扱	指導部長
阪元和輝	指導部漁政担当部長 漁政課長事務取扱	指導部次長漁政課長事務取扱
中尾英樹	指導部漁政課長補佐	総務部総務課長補佐
神柱武志	宮崎県農政水産部水産政策課	指導部漁政課長補佐
荒武久道	指導部漁政課長補佐	宮崎県農政水産部水産政策課
黒木一秀	宮崎県農政水産部水産政策課	指導部漁政課職員
平中智美	指導部漁政課職員	総務部経理課職員
大嶋義隆	指導部組織経営課長補佐	宮崎県農政水産部水産政策課
倉尾恭太	指導部組織経営課係長	指導部指導推進課係長
贄田哲也	北浦製氷工場職員	日南支所職員
塩月睦成	延岡支所長	延岡支所次長
岩谷明彦	延岡支所職員	総務部総務課職員
久保一好	日南支所長	指導部指導推進課長、部次長待遇
秋元啓助	日南支所係長	業務部購買課職員
水木竜也	日南製氷工場職員	北浦製氷工場職員
坂元岳	南郷事業所職員	日南支所職員

採用一覧表

平成26年4月1日付

氏名	配属先	備考
北島慎也	購買事業部購買課職員	
牧野琢真	総務部総務課職員	
甲斐俊光	指導部組織経営課専門員	



## 平成25年度第9回理事会

漁連では、3月25日(火)水産会館第一中研修室において、平成25年度第9回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案どおり承認された。

### 報告事項

- 1.人事異動について
- 2.平成25年度コンプライアンスプログラムの進捗状況について

### 附議事項

- |       |  |
|-------|--|
| 第一号議案 | 平成25年度取扱及び決算見通しに関する件                         |
| 第二号議案 | 固定資産の取得に関する件                                 |
| 第三号議案 | 種子島周辺漁業対策事業により整備した施設(機器)の譲渡及び譲渡に伴う補助金返還に関する件 |
| 第四号議案 | 理事の利益相反に関する件                                 |
| 第五号議案 | 諸規程の一部改正(案)に関する件                             |
| 第六号議案 | 運転資金の借入に関する件                                 |

## 平成25年度第4回監事会

漁連では、3月25日(火)水産会館第二中研修室において、平成25年度第4回監事会を開催し、次の事項について議案審議を行い、原案どおり承認された。

### 附議事項

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 第一号議案 | 平成25年度決算監査計画(案)に関する件 |
|-------|----------------------|

## 平成25年度第3回宮崎県漁連倫理委員会

漁連では、3月14日(金)水産会館漁連会議室において平成25年度第3回宮崎県漁連倫理委員会を開催し、次の事項について報告及び協議を行った。

### 報告事項

- 1.コンプライアンス・チェックリフト集計結果について
- 2.コンプライアンス・プログラムの進捗状況について

### 協議事項

- 1.平成26年度コンプライアンス・プログラム(案)について





## 平成25年度県関係人事異動

## 農政水産部

氏名	新	旧
山田卓郎	次長(水産担当)	水産試験場長

## 水産政策課

氏名	新	旧
坂本龍一	課長補佐(技術)	東臼杵農林振興局課長

## 企画流通担当

大村英二	主幹	水産政策課漁業資源管理室漁業管理担当主幹
上林大介	主任技師	気仙沼地方振興事務所
黒木一秀	研修生	宮崎県漁業協同組合連合会

## 団体金融担当

有村淳	主事	企業局総務課総務・管財担当主事
山本聡	主事	新規採用職員

## 宮城県派遣

西口政治	技師	南那珂農林振興局技師
渡部允	技師	漁村振興課漁村振興担当技師

## 水産政策課漁業・資源管理室

氏名	新	旧
田原健	室長	水産試験場副場長

## 資源管理担当

大山剛	主幹	水産試験場増殖部副部長
中西健二	主任技師	漁村振興課計画担当主任技師

## 漁業管理担当

中村哲也	主幹	漁村振興課漁村振興担当主幹
神柱武志	主査	宮崎県漁業協同組合連合会

## 漁村振興課

氏名	新	旧
日向寺二郎	課長	水産政策課漁業・資源管理室長
川越克彦	漁港整備対策監	企業局工務課課長補佐(技術)
倉元敏則	課長補佐(技術)	砂防課課長補佐(技術)

## 管理担当

東光潤	主事	教育委員会事務局主事
-----	----	------------

## 漁村振興担当

安田広志	主幹	漁村振興課計画担当主幹
谷口基	主査	宮崎県海区漁業調整委員会主査
宮川博妃	技師	新規採用

## 計画担当

赤嶺そのみ	主幹	水産政策課漁業・資源管理室資源管理担当主幹
西口紀依	主任技師	山村・木材振興課組合・担い手育成担当主任技師

## 整備担当

尾崎裕行	主査	日向土木事務所道路建設担当主査
------	----	-----------------

## 南那珂農林振興局

氏名	新	旧
中村充志	副主幹	水産試験場資源部主任研究員
堀江ひかり	技師	新規採用

## 東臼杵農林振興局

氏名	新	旧
西府稔也	課長	水産政策課企画流通担当主幹
伊東正博	副主幹	漁村振興課漁村振興担当副主幹

## 水産試験場

氏名	新	旧
神田美喜夫	場長	漁村振興課長
兼田正之	副場長	高等水産研修所長

## 管理担当

蟻立興子	主幹兼主任	監査事務局副主幹
福田善一郎	主査	県立こども療育センター主任主事
早川隆宏	主事	串間土木事務所主事

## 資源部

清水博	副部長	東臼杵農林振興局副主幹
-----	-----	-------------

## 増養殖部

杉田浩	部長	水産試験場増殖部長
松浦光宏	副部長	南那珂農林振興局副主幹

## 経営流通部

寺山誠人	部長	水産試験場生物利用部長
稲野俊直	副部長	水産試験場生物利用部副部長

## 内水面支場

毛良明夫	支場長	水産試験場小林分場長
------	-----	------------

## 高等水産研修所

氏名	新	旧
田中宏明	所長	水産政策課課長補佐(技術)

## 宮崎県内水面振興センター

氏名	新	旧
永田俊一	副参事	中山間地域政策課課長補佐

## 退職

氏名	新	旧
那須司		農政水産部次長(水産担当)
平松理		宮崎県内水面振興センター副参事
東明浩		水産試験場資源部副部長
山田健裕		水産政策課団体金融担当主事

## 水産試験場からのお知らせとお願い ～水産試験場～

### 1 水産試験場の組織改正について

水産試験場の試験研究推進につきましては、日頃から皆様方のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。水産業は、魚価の低迷や燃油の高騰等による経営環境の悪化や就業者の減少など、依然として厳しい状況が続く中、生産者としてだけでなく流通・販売や経営面での取組みがますます重要になってきております。このような漁業を取り巻く今日的課題に対応するため、水産試験場においても試験研究業務の大幅な見直しを図り、第五次長期計画の目標である儲かる漁業やフードビジネスに対応した研究レベルでの組織再編を行いました。具体的には、儲かる漁業づくりを進めるため、漁業経営や流通・販売、さらには新たな製品の開発等を通じて漁業者の皆様に研究レベルでの支援を行うことを目的とした経営流通部を新設する等、新旧対照表に示すような組織改正としました。

～平成25年度	平成26年度～
<p>水産試験場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場長</li> <li>副場長 (総括)</li> <li>副場長 (技術担当)</li> <li>管理課</li> <li>資源部</li> <li>増殖部</li> <li>生物利用部</li> <li>小林分場</li> </ul>	<p>水産試験場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場長</li> <li>副場長 (総括)</li> <li>副場長 (技術担当)</li> <li>管理課</li> <li>資源部</li> <li>増養殖部</li> <li>経営流通部</li> <li>内水面支場</li> </ul>

### 2 平成26年度新規・重点研究課題のご紹介

水産試験場では「水産資源の回復と持続的利用(資源回復)」、「効率的生産による漁業経営の安定(コスト削減)」及び「消費者に信頼される水産物の供給(魚価向上)」をキーワードに、平成26年度は35の研究課題に取り組んでいます。それらの研究課題の中で、新規・重点研究課題の一部について以下にご紹介します。

#### (1) 起業につながる現場対応型藻類養殖技術の開発(H26～30、経営流通部、増養殖部)

本県は外洋に面していることから荒天で出漁できないことも多く、加えて資源減少の影響で沿岸漁業経営は厳しい状況が続いています。一方、藻類養殖は短期間で少ない労力で低コストに取り組むことが可能であることから、副業としての価値が見込まれています。そこで、有用海藻の種苗生産技術開発に取り組むとともに、それぞれの現場で対象種ごとに漁業者の皆様や普及指導員と連携しながら、起業につなげるための技術開発に取り組んでいくこととしています。

各現場毎の問題解決や技術普及、フォローアップが適切に行われることにより、藻類養殖による新たな特産物を生み出すことができ、地域活性化につなげることができるよう取組みを進めてまいります。

#### (2) マダイとヒラメの放流効果向上のための研究(H26～28年度、資源部)

県内のマダイやヒラメの漁獲量は平成8年に過去最高を記録したものの減少に転じ、放流効果の低迷が見られます。天然魚を含む資源量も減少傾向にあることから、これらの原因究明が急務となっています。そこで、以前よりも精度の高い生物情報(成長や栄養状態、成熟等)より得られる知見から、放流効果や資源量の低迷原因を推定し必要な対策の検討を行います。

マダイやヒラメは重要な資源であることから、早期に放流効果の低迷原因が解明され、これを踏まえた対策により効率的な栽培漁業の実践が可能となるよう取組んでまいります。

### (3)アカアマダイ種苗生産技術開発(H26～30、増養殖部)

本県のアカアマダイは平成元年をピークに漁獲量が減少し、資源レベルは低位で横ばい傾向と評価されています。資源回復の手段としては漁獲制限等の資源管理のほか種苗放流が考えられます。飼育水の冷却等の課題がありましたが、予備試験として種苗生産試験(平成24～25年度)を実施したところ、採卵やふ化の目処が立ったことから、本格的な種苗生産技術開発試験に取り組むこととしました。

アカアマダイは資源管理対象魚種の中でも重点的に管理措置を行うべき対象種であることから、早急な資源回復を図ることができるよう技術開発に取り組んでまいります。

### (4)チョウザメ効率的種苗生産技術開発Ⅱ(H26～30、内水面支場)

本県では平成16年に全国で初めてシロチョウザメの完全養殖(稚魚→成魚→卵→稚魚)に成功し、県内で養殖されている方は19業者となり昨年からキャビア販売が始まりました。このシロチョウザメのキャビアは高品質であるものの養殖期間が10年近くかかることから、短期間で成熟する養殖対象種が望まれています。そこで、シロチョウザメよりも成熟が早く次期養殖対象種として有望なシベリアチョウザメ等について、効率的な種苗量産技術の開発に取り組んでいくこととしています。

複数種のチョウザメ種苗の安定供給体制が確立されることにより、経営の安定化が図られるとともに新規参入が促進されることとなり、本県独自のチョウザメ産業の振興が期待されます。

### (5)高温耐性サクラマスの作出(H26～30、内水面支場)

冷水性魚類であるヤマメは降海するとサクラマスと呼ばれ、大きく成長して高級食材として取扱われますが、海水温の高い本県では天然サクラマスの漁獲はほとんど見られません。ヤマメは海水飼育を行うと淡水飼育と比較して高成長を示し、卵を効率的に大量確保することができるとともに短期間での魚肉の出荷が可能となります。しかしながら、本県では海水温が高いことから海面飼育ができる時期が限られているのです。そこで、永年にわたる高温耐性ニジマスの研究で得られた遺伝子解析の技術を応用して、高水温に強く海水適応能力の高いヤマメの系群を作出することとしています。

海面養殖の新規魚種として短い養殖期間で高成長が望めるサクラマスの養殖が可能になり、県内水産業や地域経済の活性化につながるものと期待されます。

### (6)主要浮魚類の漁況・漁場予測技術の高度化(H24～28、資源部)

マイワシやマアジ等の回遊性浮魚類は、数年から数十年単位で資源量が大きく変化することが知られています。これらの浮魚類を漁獲対象とするまき網漁業では、操業の一層の効率化やより計画的な経営を行う上で、漁況や漁場の予測技術開発やその高度化が重要なものとなっています。そこで、これまでの長期漁況予測(数か月単位)に加え、資源変動に伴う漁獲水準の変動を予測する技術の開発を行うとともに、新たな海況情報を活用した漁場予測技術(数日単位)の開発に取り組んでいます。

### (7)カツオ・マグロ類の漁場予測技術の高度化による操業効率化技術の開発(H23～27、経営流通部)

本県の基幹漁業であるかつお一本釣漁業やまぐろ延縄漁業について、その漁場形成要因を明らかにすることは操業の効率化につながり、燃油代を節減する上で非常に重要であると考えられます。本研究では、カツオやビンナガを対象とした漁場予測技術の高度化を図るため、過去に収集された情報から漁場形成の要因を解析し、これを基にした漁場の推定やみやぎ丸による実証試験を行いながら、漁場形成要因の解明及び漁場予測技術の開発を進め、予測精度の向上を図っています。

水産試験場では、漁業者の皆様を始めとする関係者の要望等を技術的に解決するという従来からの役割に加えて、今回の組織改正の目的にあるように、流通・販売や経営につながるような研究の推進に努めていく所存でありますので、ご要望はもとより問題点や疑問点について遠慮なく相談くださるようお願いいたします。

## 3月の動き(県関係)

14日	第4回儲かる漁業実現PJ推進協議会(宮崎市)	25日	宮崎初カツオフェア知事・農政水産部長表敬訪問(宮崎市)
19日	宮崎県資源管理協議会総会(宮崎市)	27日	宮崎県栽培漁業推進協議会(宮崎市)
24日	第370回海区漁業調整委員会(宮崎市)	28日	平成25年度水産業・漁村振興協議会(宮崎市)

## 平成25年度 宮崎県漁協職連県中地区ボウリング大会

**宮** 崎県漁協職連連絡協議会(委員長・片伯部修)は、3月14日(金)フェニックスボウリングセンターにおいて、県中地区漁協職連会員31名のもと、平成25年度宮崎県漁協職連県中地区ボウリング大会を開催した。結果は次のとおり。

地区	県中地区	日時	平成26年3月14日(金)
場所	フェニックスボウリングセンター		
参集範囲	JF都農町～JF宮崎市、 系統団体	参加者数	31名
優勝	松岡 重企(信漁連)		
2位	押川 菜々美(信漁連)	3位	竹井 史典(漁連)



## 宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 平成26年度通常総会

**宮** 崎県漁協青壮年部連絡協議会(会長 浜本将太)は、去る3月17日(月)宮崎県水産会館5階大研修室にて平成26年度通常総会を開催し、全議案とも異議無く承認された。協議内容は下記の通り

### 協議事項

- 1.平成25年度事業報告書及び収支決算書について
- 2.平成26年度事業計画書及び収支予算書(案)について
- 3.平成26年度会費の額及び徴収方法(案)について
- 4.役員改選について
- 5.その他

## 第49回宮崎県漁協青壮年部幹部移動研修会

**通** 常総会に引き続き、第49回宮崎県漁協青壮年部幹部移動研修会が開催された。研修会は、道の駅萩しーまーと店長中澤さかな氏による「魚価を上げる15の手法+@」で行われ、雑魚に付加価値をつけ販売する過程や、無名の真フグを萩の特産品にする過程までの内容で行われた。

## 3月の動き

3～4日	在庫調査	18日	宮崎県漁政対策委員会第7回委員会・ 佐多対空射撃場水域設定に係る事前協議 県機能基盤強化推進委員会第1回委員会
14日	第3回倫理委員会 平成25年度宮崎県漁協職連県中地区 ボウリング大会	25日	第9回理事会 第3回監事会
17日	宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 平成26年度通常総会	31日	平成26年度宮崎県かつお・ まぐろ漁業者協会通常総会

